

2024年1月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

トランジション・ローンの契約締結について
(川崎重工業株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、川崎重工業株式会社(代表取締役社長:橋本 康彦、以下「川崎重工業」)との間で、川崎重工業が策定し、2023年11月30日に公表した「サステナブルファイナンスマスターフレームワーク(以下「同フレームワーク」)(※1)に基づく「トランジション・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

トランジション・ローンは、気候変動リスクへの対策を検討している企業が、脱炭素・低炭素社会への移行に向けて、長期的な戦略に則ったCO₂削減の取組を行っている場合に、その取組を支援することを目的とした融資です。企業が気候変動関連のリスクに効果的に対処するために掲げている科学的根拠に基づくクライメート・トランジション戦略とガバナンスおよびビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティを評価し、パリ協定の目標達成への活動を促進するものです。

本件は、グリーンボンド原則2021(ICMA)(※2)、グリーンローン原則2023(LMA等)(※3)、グリーンボンドガイドライン2022(環境省)、グリーンローンガイドライン2022(環境省)、クライメート・トランジション・ファイナンスハンドブック2023(ICMA)、およびクライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針2021(金融庁・経済産業省・環境省)に即した融資契約であり、また、同フレームワークは、当原則・ガイドライン等への適合性について株式会社日本格付研究所により第三者評価(※4)を取得しています。

当社では、トランジション・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<川崎重工業について>

川崎重工業は、創業の理念を引き継ぎ制定したグループミッション『世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”』の実現に向け、多様で高度な技術力を駆使して社会課題の解決に貢献することにより、新たな価値の創造に取り組んでいます。2020年11月には「グループビジョン2030」を策定し、その実現に向け、安全安心リモート社会、近未来モビリティ、エネルギー・環境ソリューションの3つを注力フィールドとしています。エネルギー・環境ソリューションでは、「安定したクリーンエネルギーへの挑戦」を掲げ、低コストで安定した脱炭素社会を早期に実現することを目指しています。

なお、同フレームワークは、6種類のサステナブルファイナンス(グリーン、トランジション、トランジション・リンク、ブルー、ソーシャル、サステナビリティ・リンク)での調達を網羅するもので、川崎重工業は、当社が提供する「ポジティブ・インパクト評価のフレームワーク」と合わせ、あらゆるサステナブルファイナンスに対応する仕組みを構築しています。

< 本件概要 >

企業名	川崎重工業株式会社
契約締結日	2024 年1月 31 日
資金使途	同フレームワークで定める適格クライテリアのうち、①水素のクリーンエネルギー利用および②水素のクリーンエネルギー利用(混焼)に関連する事業・プロジェクトに対する支出

(※1) サステナブルファイナンスマスターフレームワークの詳細はこちら

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_231130-1.pdf

(※2) 国際資本市場協会 (ICMA)

スイスに本部を置く(1969 年設立以来チューリヒ)国際団体であり、世界 60 カ国の発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家、資本市場インフラ運営者等 500 以上の会員から構成されています。

(※3) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※4) 株式会社日本格付研究所による評価の詳細はこちら

https://www.jcr.co.jp/download/21c757ddde575cd410dd47a9ccc7c234a8c5d507ec4475c41c/23d1181_1.pdf

以 上